

おはようございます。久しぶりに、朝から日差しを浴びています。

良い天気となりました。今日も気持ちよく過ごしたいです。

今後の日本の課題の1つとして、人口減少・少子高齢化が挙げられるのは、明白なところ。この課題は、南砺市においても喫緊の課題と言えます。

人口減少に負けない思考法は何なのか。この知恵は、学校運営にも生かされるべきものと捉えています。そのために、河合雅司氏の著「未来を見る力」を拝読しています。

本著で、河合氏は人口減少社会を乗り越えていく最も大切な能力として、柔軟に頭を切り替える「しなやかさ」を挙げられ、具体的には次の説明をされています。

○固定観念にとらわれぬ発想力

○前提がどんどん変わって行っても臨機応変にこなしていく忍耐力

○価値観の異なる人々を理解し、自分を理解してもらうコミュニケーション力

また、この「しなやかさ」を身に付ける重要な力として、「エンパシー」を挙げておられます。エンパシーとは、自分も相手の立場に立って、気持ちを分かち合うことだそうです。

気持ちを分かち合えるように常日頃から意識しながら、未来を見る力を伸ばして行きたいです。